

# 議員視察報告書

大分市議会議員 山本卓矢

自民党市議団有志では、山口市、静岡市を視察いたしました。

概要は以下の通りです。

(実施期間) 令和6年1月23日(火)～1月25日(木)

(視察都市) 山口市、静岡市

(視察内容) 山口市：山口市デジタル人材育成・仕事創出ネットワークにつ

いて

静岡市：1歳・2歳児家庭への伴走型相談支援について

## 【山口市】

山口市では令和3年からDX推進の伴う人材育成によって新たな産業の創出に力を入れている。市が建設した山口市産業交流拠点施設「KDDI維新ホール」にて広域県央中核都市の実現に向け、「産業創造」「にぎわい創造」「生

活文化創造」の3つの視点に立ち整備している。

MICEを誘致できる施設や、地元の病院と連携した健康づくりをメインとしたメディフィットラボやシェアハウス型の若手人材育成施設アカデミーハウスなどを整備している。

その中でも、産業交流スペース「メグリバ」ではコワーキングスペースや、飲食店での新作料理を試せるクッキングスペース、雑貨などを販売しマーケティング調査するチャレンジスペースなど多岐にわたって運営している。

これまで建造物などの建築が得意である行政に運営というソフト部分を指定管理会社のマッチングがうまくいっている印象を受けた。

日本全国DXに向けての機運が高まっている中、SEを育成しその中で新たな産業として創出している成功事例だと考えます。今後の指定管理に関しては市民とのニーズのマッチングはもちろんの事、産業創出や、子育て支援など団体任せだけでなく、管理業者の企画立案ができる業者の選定が必要だと考えます。

ただし、行政DX推進に関しては本市同様一進一退の感が見受けられた。

**【静岡市】**

静岡市では第4次静岡市総合計画にて子育て家庭が孤独感、負担感を抱くことなく、安心して子どもを産み育てやすい環境をつくる事を目標としている。その中、国は2023年10月妊婦や子育て家庭への支援のため、「伴走型相談支援」を開始し、1回目と3回目の面談実施後合計10万円相当のギフト給付も同様に開始しています。

静岡市では1歳、2歳児の時期において発生している相談支援の空白、つまりは6ヶ月育児相談から1歳6ヶ月検診にかけての1年間、1歳6ヶ月検診から3歳児検診にかけての1年6ヶ月間、空白期間が発生します。この空白期間に育児に対してさまざまな不安が発生します。入園に関してや、子どもの発達などの不安は様々です。そこで静岡市はこの空白期間を埋めるべく独自で伴奏型相談支援を開始しました。

相談の実施状況は1歳児を子育てしている家庭への発送1341件のうち回答数が795件。面談希望数が311件。2歳児では発送3530件、回答数は1883件、面接希望数は453件と1歳児、2歳児ともに面接希望の割合は低い。事後のアンケート調査によると相談できかが67.7%、ある程度の方が28.3%と満足された方が多いことが伺えます。今後の課題としては潜在的に不安を抱えている方の抽出方法はどうするのが課題です。ただし子育てに関して不安を抱えている方への解消に向けての入り口の施策としては非常に有効だ

と考へます。特に空白期間では未入園児童に対して特に不安を抱える事だと思ひます。今後本市でも導入できないか模索し、提言してまいります。